



資料提供
令和5年12月14日
課名：中山間地域振興課
担当者：藤谷
内線：2631
直通：082-513-2632

ひろしま「ひと・夢」未来塾 第9期生の プラン発表会、表彰式及び卒塾式を開催します 今年は湯崎知事から最優秀賞、優秀賞を受賞者へ授与します！

中山間地域の未来をリードし、サポートする人材を育成・確保するために実施している「ひろしま『ひと・夢』未来塾」について、第9期生のプラン発表会、表彰式及び卒塾式を令和5年12月16日（土）に開催します。

次の2コースを設定し、計5回の講座を通じて、講師やメンターからのアドバイスのもと、目指したい活動内容を明確にしながら、取組プランを練り上げてきました。

- ①「生活課題解決コース」（塾生13名）：地域とつながりを持ちながら、身近な地域課題の解決を目指すコース
- ②「起業準備コース」（塾生15名）：中山間地域の資源を活用した起業や事業拡大の実現を目指すコース



最優秀賞・優秀賞を表彰

その成果をプラン発表会で披露し、コースごとに最優秀賞、優秀賞の受賞者を決定し表彰します。

当日、プラン発表会終了後の卒塾式では、塾長である湯崎知事から修了証書を授与し、激励のこたばを送ります。

地域づくりの未来を担う塾生が練り上げたプランを発表し、表彰されますので、是非ともプラン発表会、表彰式及び卒塾式を、ご取材くださいますようお願いいたします。



令和4年度卒塾式の様子

1 開催概要

日時 令和5年12月16日（土）13:00～17:00（※知事出席は、16:20からです。）
場所 広島県立総合体育館 大会議室（B1F）・ミーティングルーム（1F）（広島市中区基町4-1）
出席者 塾長（広島県知事 湯崎英彦）、審査員、塾生28名等

【審査員】

生活課題解決コース	あんどう しゅうじ 安藤 周治 氏	特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター 代表理事
	しみず さなえ 清水 早苗 氏	株式会社地域デザイン研究所 代表取締役
	にしべ はつえ 西邊 初江 氏	広島県地域政策局 中山間地域振興担当部長
起業準備コース	のむら たけし 野村 武司 氏	ひろぎんエリアデザイン株式会社 マネージャー
	いまい きょうこ 今井 恭子 氏	イノベーション・ハブ・ひろしま Camps コミュニティマネージャー
	たきはら ゆうた 滝原 雄太 氏	広島県商工会青年部連合会 会長

2 次第（予定）

プラン 発表会	13：00～16：20	生活課題解決コース ミーティングルーム	起業準備コース 大会議室
		○マイプラン発表（13名×8分） ○発表後、個評 ○審査	○ビジネスプラン発表（15名×8分） ○発表後、個評 ○審査

会場移動（各コースのプラン発表会が終了後、大会議室へ移動して両コース合同開催）

総評・表彰式	16：20～16：40	○審査員総評 ○各コースの結果発表（コースごとに最優秀賞1名、優秀賞1名） ○表彰状授与（コースごとの最優秀者・優秀者に、塾長（知事）から表彰状授与）
卒塾式	16：40～17：00	○修了証書授与（コースごとに卒塾生代表に対し、塾長（知事）から修了証書を授与） ○塾長（知事）あいさつ ○写真撮影

3 プラン内容（一部抜粋）

【生活課題解決コース】

- ・ 地域農業における人手不足を解決するため、市域外から援農希望者を募集できる仕組みを作り、人手不足を解決するとともに関係人口の創出を目指す。
- ・ 地域の児童・生徒が住民と交流しながら作業するための菜園を作ることで、地域住民や自然の魅力を感じてもらい、地域に愛着と誇りを持つ人材の育成を目指す。
- ・ 唐辛子を使った獣害対策商品を作り、鳥獣被害を減少させることにより、農業環境の改善を目指す。



塾生が講義を受ける様子

【起業準備コース】

- ・ 空き家を改修して、子どもたちだけでなく、大人もマルシェやレンタルスペースなど自由に利用できる場所を整備する。
- ・ ローカル情報を集めて、地域内外の幅広い人材に情報発信することで、これまで知られていなかった地域の新たな魅力発見につなげ、関係人口の増加を目指す。
- ・ 地域の農家から規格外野菜を仕入れ、それらを購入したい消費者をつなぐマッチングサイトの開設により、規格外野菜を販売できる仕組みを構築する。

※他のプラン概要は別紙のとおり

4 その他

取材を希望される場合は、別紙の「取材申込書」に必要事項を記入のうえ、12月15日（金）12時までに、メールまたはFaxでお申込みください。

第9期ひろしま「ひと・夢」未来塾卒塾予定者一覧

生活課題解決コース

番号	お名前	ふりがな	解決したい地域課題	プラン概要
1	中丸 寿絵	なかまる ひさえ	・古民家の活用 ・地域住民のコミュニケーション不足	アトリエや展示スペース、コミュニケーションスペースとして古民家を活用し、自分の得意な洋服のリフォームを題材に会話を活発にしていきたいことにより、地域を元気にする。
2	阿部 智宏	あべ ともひろ	農業の衰退	滞在型農業体験の実施や循環型農業の実施による農業の活性化を目指す。
3	入瀬 瞳	いりせ ひとみ	少子高齢化により、耕作地を整備できず耕作放棄地が増加していること。	除草効果が高いヤギを耕作放棄地で飼育・販売し、地域の耕作放棄地の減少に貢献する。
4	圓藤 恵	えんどう めぐみ	神社の数の減少や後継者不足、地域外からの参拝客を含む旅行者の減少	神社を活用して様々なイベントを実施することで、神社を人が集まり、人に寄り添える心の癒しの場所として活用する。
5	大前 和美	おおまえ かずみ	地域住民が交流する場所がなく、地域コミュニティが希薄化していること。	地域住民と協力したワークショップの定期開催、コミュニティ情報誌の発行により地域コミュニティの活性化を図る。
6	有重 由紀子	ありしげ ゆきこ	豊かな自然を活かした農業や人の魅力があるにも関わらず、地域の若い世代がそれに気づかず、地域を離れてしまうこと。	地域の学生と農業者などが協力し、農作業着のファッションショーを企画し、地域住民の交流機会の創出、若い世代が農業に興味を持つきっかけを作る。
7	竹光 博之	たけみつ ひろゆき	地域住民には、ハチの巣駆除や、庭の手入れなど様々な困りごとがあるが、業者に依頼すると高価になったり、来てもらえないなど、簡単には解決できないことが多いこと。	地域での困りごとを、出来る範囲で安価に素早く解消できる組織を作り、解決・解消していくことを目指す。
8	藤中 拓弥	ふじなか たくや	・農業の人材不足 ・常には必要ないが、収穫時期など一定期間のみの需要に対応できないこと。	地域農家と地域外の農業に興味がある人を繋ぐ援農プラットフォームを作り、体験型、援農型、労働型という多様な形態の参加メニューを構築し、人手不足の解消を目指す。
9	平中 哲朗	ひらなか てつろう	海洋プラスチックごみ	地域内・地域外の人をエコツアーで巻き込みながら、海の清掃とプラスチックごみに対する意識の変化を促す。
10	吉岡 紘	よしおか ひろし	・鳥獣被害による農作物の生産量の低下 ・対策にかかる費用の高騰 ・新規就農者の減少	唐辛子を用いた獣害対策パッケージを開発し、安価で簡単な獣害対策を実現する。
11	大橋 和也	おおはし かずや	・地域農業の衰退による耕作放棄地や鳥獣被害の増加 ・20歳代以下の若年層の減少（特に小・中・高校に通う児童・生徒）	高校の授業や課外活動として農業を取り入れることで若者の農業への理解促進を図るとともに、若者が地域農業に魅力を感じるよう農業にブラッシュアップしていく。
12	櫻井 紫	さくらい ゆかり	高齢化、人が集まり交流できる場所が少ないこと。	古民家を改修し、カフェやシェアキッチンの機能を持つ場所を整備し、地域内外の人の交流を生み出し、地域活性化、関係人口の増加を目指す。
13	小林 真季	こばやし まき	子育て世代同士での交流機会や仕事の選択肢が少なく、子育て中の孤立感が強いこと。	定期的な女子会を開催し、そういった情報を発信することで、孤立感を感じる人の居場所を作る。

起業準備コース

番号	お名前	ふりがな	プラン概要
1	大内 良三	おおうち りょうそう	古民家を改修し、チェーンの資格講習や安全講習、農業体験などが出来る簡易宿泊施設を整備し、林業の担い手作りや観光誘致、移住定住につなげる。
2	峠下 陽	たおした みなみ	空き家を改修して、子どもたちが好きなことを出来るだけでなく、大人たちもマルシェやレンタルスペースとして利用できる場所を作る。
3	池上 文美	いけうえ ふみ	地域の野菜を使った食堂を開き、地域の野菜を多くの人に食べてもらえる場所を整備する。
4	守分 勇馬	もりわけ ゆうま	地域の農家から規格外野菜を仕入れ、それらを購入したい消費者をつなぐマッチングサイトの開設により、規格外野菜を販売できる仕組みを構築する。
5	竹原 華子	たけはら はなこ	地域の耕作放棄地で栽培した作物を活用した商品を提供するカフェをオープンし、地域を訪れる人の増加を図るとともに、耕作放棄地の活用、農業の楽しさを多くの人に知ってもらう。
6	三村 明日海	みむら あすみ	ジビエカフェをオープンし、ジビエの美味しさを知ってもらい解体に関わる人の増加、ジビエの需要を上げることで事業者の所得向上を目指す。
7	堀 幹史	ほり もとふみ	自ら生産する安全野菜と地域農家から仕入れた野菜を年間を通じて安定した価格で安定して供給する仕組みを構築し、消費者のニーズにこたえらるとともに生産者の収入増にも貢献する。
8	大土 雅弘	おおど まさひろ	古民家を改修し、昼の短時間仮眠が出来る場所を作り、心と身体を整え心身の健康増進に寄与する。
9	銀 純洋	しろがね すみひろ	地域の農家から廃棄野菜などを買取るとともに自ら運営している飲食店の客にもプランター等での生産を依頼して買取り、自社飲食店で料理（加工）して提供することにより、地域経済の循環を実現する。
10	利元 夏緒里	としもと かおり	地域の食材を利用したベーグル販売を行い、地域内外の人に多く食べていただくことで、食材の魅力を知ってもらう。
11	西村 鈴	にしむら すず	人や社会、環境に優しい商品を購入する「エンカル」な生活を誰もが出来る環境を、ワークショップや商品販売を通じて実現し、エンカルな文化を見字付けた子供達が社会の担い手になることを目指す。
12	吉村 彩乃	よしむら あやの	地域の伝統工芸品、食材、酒などの様々な魅力的なもののブランディングや広報を行い、多くの人に認知してもらうことで、後継希望者の増加に繋げ、地域の活性化を目指す。
13	稲田 元樹	いなた もとき	豆などにこだわったコーヒーや地域の食材を使った商品を提供するカフェをオープンし、地域内外の人が集まって安心できる居場所を作る。
14	ハキモフ香川 有加	はきもふかがわ ゆか	中山間地域の魅力を何不自由なく楽しめる宿泊施設を作り、宿泊客を呼び込むことによる、関係人口の創出や、移住・開業希望者に古民家物件を多くの人に橋渡しするために、希望者と古民家を繋ぐ仕組みを作る。
15	井上 稚子	いのうえ わかこ	ローカル情報を集め、発信するプラットフォームを作り、地域内外の多くの人に情報を届けることで、地域の新たな魅力発見や関係人口の増加につなげる。

取材を希望される場合は、12月15日（金）12時までにご連絡ください。

<取材申込書>

広島県地域政策局 中山間地域振興課 深水（ふかみず）宛

メール chichusankan@pref.hiroshima.lg.jp

FAX 082-224-1977

ひろしま「ひと・夢」未来塾 第9期生のプラン発表会、表彰式及び卒塾式

- 日時：令和5年12月16日（土）13:00~17:00
- 場所：広島県立総合体育館（広島市中区基町4-1）

貴社名（局・媒体名）	（ ）	
代表者氏名		
参加人数		
連絡先		
カメラの有無 ※○を記入してください	<input type="checkbox"/>	スチールカメラ 台
	<input type="checkbox"/>	ムービーカメラ 台
	<input type="checkbox"/>	カメラなし
取材希望時間帯 ※○を記入してください	<input type="checkbox"/>	プラン発表会（生活課題解決コース） 13:00~16:20 ※ミーティングルーム
	<input type="checkbox"/>	プラン発表会（起業準備コース） 13:00~16:20 ※大会議室
	<input type="checkbox"/>	審査員総評・表彰式・卒塾式（両コース合同） 16:20~17:00 ※全員が研修室Bに移動して合同開催（※知事出席）
その他	※掲載・放送予定等も現時点でわかればご記載ください。	